

平成 27 年度

全国学力・学習状況調査の  
結果について



海老名市立上星小学校

|                          |      |
|--------------------------|------|
| 全国学力・学習状況調査について          | P. 1 |
| 「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 2 |
| 「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 3 |
| 「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 4 |
| 「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」 | P. 5 |
| ご家庭で取り組んでいただきたいこと        | P. 6 |
| (資料) 学習・生活習慣と学力との関係      | P. 7 |



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・小学校第6学年
- ・中学校第3学年

## ◆ 調査内容

### (1) 教科に関する調査

#### 【小学校】

国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)  
国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)  
理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

#### 【中学校】

国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)  
国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)  
理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？  
これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？  
身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問
- (3) 学校に対する質問紙調査 指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日(火)



# 国語に関する調査結果

## 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 文の意味のつながりを捉え、仮定の表現として、適切なものを捉える力



読む力

- 国語辞典を使って、言葉の意味と使い方を理解する力
- 学年別配当表に示されている漢字を正しく読む力



言語についての知識・理解・技能

《努力を要する所》

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く力
- 文の中における主語を捉える力
- 文を構成する主語と述語との照応関係を捉える力



言語についての知識・理解・技能

## 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的に応じ、中心となる語や文を捉える力
- 目的や意図に応じ、記事に見出しをつける力
- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら最初に持った疑問を捉える力
- 登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読する力



読む力

《努力を要する所》

- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く力



書く能力

日常の授業の中でも、学習のまとめや感想等を文章で書いたり、意図していることを伝えるために、事実や情報を整理して書いたりすることを苦手としている。そのため、そのような学習経験を積み重ねていく必要がある。

## 今後の具体的な取組

- 物語文や説明文を読み取っていく際に、「誰が・何が・どうなった・どうした」など主語や述語を明確にしながら読み取りを深めていけるよう指導していく。
- 指示語やまとめを表す言葉に注目させながら、文章の構成を読み取り、要旨をまとめることができるよう指導していく。
- 読書週間等を利用し、より多くの漢字に触れる機会を増やすとともに、日常の書く活動で漢字を活用するように指導していく。



# 算数に関する調査結果

## 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 繰り上がりのある2位数の加法計算
- 分数の除法計算(除数が整数の場合)

### 数量や図形についての技能

- 加法における確かめ算の方法の理解
- グラフの読み取り
- 式と図の関連性の理解

### 数量や図形についての知識・理解

算数の学習に苦手意識を感じている児童が多い。そこで、日々の授業は、隣の席や班の友だちと交流をさせて、協力して課題に向かう場を設定している。

交流について楽しいと感じている児童が多く、意欲的に取り組む様子が見られる。友だちとのやり取りの中で「あ！そうか！」と課題を理解することがあり、子どもたちも交流学习による効果を実感しているようである。

《努力を要する所》

- $180^\circ$ よりも大きい角度の求め方

### 数量・図形についての技能

- 円の性質を基に、二等辺三角形を証明する方法

### 数量・図形についての知識・理解

図形の問題に困難を感じている児童が多い。図形を作成する学習用具の使い方や、図形のもつ性質の理解を促す指導が継続的に必要である。

## 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求める。

### 数量や図形についての技能

- 平行四辺形の性質を基にした、平行四辺形を構成することができる辺の組み合わせの理解

### 数量や図形についての知識・理解

《努力を要する所》

- 図形の性質を生かした証明
- 示された情報から、基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求める。
- 正三角形の性質を基に、示された周りの長さから辺の長さが等しくなる位置を求める。
- 概数を用いて見積もりをし、結果に基づき判断をする。
- 長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する。

### 数学的な考え方

自分の考えを言葉や文章で表すことが苦手な児童が多い。友だちと意見交流の場を設け、自分とは違う文章表現や新しい考え方に合うことで、児童の苦手意識を取り除くような取組が必要である。

## 今後の具体的な取組

- 日常生活に結びつけた、様々なパターンの文章問題に触れる機会を設ける。
- 習った事やキーワードを掲示し、児童が説明をする際の手だてとし、既習の学習を前提に新しい学習事項が考えられる環境をつくる。引き続き、友だちとの意見交流も続けていく。
- 図形の学習の際には、図形を作成する学習用具の使い方や、図形のもつ性質の理解を促す指導を継続的に行っていく。



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

(主として「知識」に関する問題)

○示された器具(顕微鏡、メスシリンダー)の名称を書く事(観察・実験の技能)

○星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身につける事(観察・実験の技能)

○水が水蒸気になる現象について、その名称を書く事

(自然事象についての知識・理解)

(主として「活用」に関する問題)

○星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析する事

(科学的な思考・表現)

### 《努力を要する所》

(主として「知識」に関する問題)

○メダカの雌雄を見分けるための観察する部分を選ぶ事

(自然事象についての知識・理解)

○顕微鏡の適切な操作方法を身につける事

(観察・実験の技能)

(主として「活用」に関する問題)

○振り子の運動の規則性を振り子時計の調整の仕方に適応できる事

(科学的な思考・表現)

○電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに活用できる事

(科学的な思考・表現)

○電磁石の働きを利用した振り子が左右に等しく振れる導線の巻き方や乾電池のつなぎ方について、当てはまるものを選ぶ事

(科学的な思考・表現)

○インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く事

(科学的な思考・表現)

### 今後の具体的な取組

○実験の方法や仮説を考えたり、もの作りをしたりする際に、これまでに学習したことを生かして考えることや、そこで用いた性質や働きを明らかにすることを意識できるように指導していく。

○考察したことや判断した理由を説明する活動を充実させる。その際には、観察、実験の結果を基に事実と解釈の両方を示す必要があることを理解できるように指導していく。

○日頃から、身の回りで見られる自然や日常生活の事物・現象について、これまでに学習した内容を適応して考える言葉かけや活動を取り入れていく。



# 児童質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 「国語や理科の勉強が好き」と回答した児童が多く、全国・県平均と比較しても、学習に対する興味・関心が高い割合を示した。
- 総合的な学習の時間では、77.3%の児童が、「自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した。  
(全国65.8%)

### 《課題と思われる所》

- 5年生までに受けた授業では、「学級の友だちとの間で話し合う活動をよく行っていた」と答えた児童は76.1%であり、県・全国平均より8～9ポイント低い。
- 国語の勉強が好きな児童が多い一方で、授業の内容の理解については、23.9%の児童が分かりにくさを感じていた。また、自分の考えや意見を書いたり話したりすることや読解を苦手としている児童が3～4割いる実態がある。
- 算数の勉強が好きと回答した児童は、全国平均並みの67%であるが、授業の内容が分かる児童については、本校で75%、全国で81%であった。また、問題を解くときにもっと簡単に解く方法があるかを考える児童は、本校で68.2%、全国で79.1%である。算数の学習で苦手意識をもつ児童が多いことが分かった。

## 生活について

### 《よかった所》

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味・関心をもち、新聞を読んだり、テレビやインターネットのニュースを見たりしている児童の割合が、全国平均よりも6ポイント高い。
- 家の人に学校の出来事について話をしている児童(本校84.1%・全国79.5%)が多く、家庭でのコミュニケーションがよくとれていることが分かった。
- 54.5%の児童が、友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意と回答した。  
(全国平均51.2%)

### 《課題と思われる所》

- 66%の児童が、自分にはよいところがあり、難しいことでも恐れずに挑戦していると回答した。(全国共に76.4%)  
反面、約3分の1の児童は、自己肯定感や挑戦意欲に乏しく課題が残る。
- 地域や社会への関心があり、身近な地域をよくするために何をすべきかを考えている児童は多いが、今住んでいる地域への行事に参加している児童は、52.3%であり、全国平均66.9%に比べてかなり低いことが分かった。今後の課題は、地域の行事への参加を促していくことである。



## 今後の具体的な取組

- 学習については、児童の実態を把握し、興味・関心をもつことのできる導入の展開や、意欲を持続できる意図的・計画的な指導法の工夫・改善を図る。(よくわかる授業)
- 学習ルールや基礎学力の定着を図りながら、学習課題に対するの追究心を絶えずもてるように配慮し、児童一人ひとりの課題解決を深める授業の展開を図る。学習の振り返りを大切にしていく。(基礎・基本の定着)
- 総合的な学習の時間や道德の学習を通して、地域社会への所属意識を高め、地域行事への参加を積極的に促していく。
- ふだんの言葉遣い(言語環境)を見つめ直し、友達と仲良く信頼関係を保つために、気持ちのこもった挨拶の励行をし、相手を尊重する態度を養わせる。

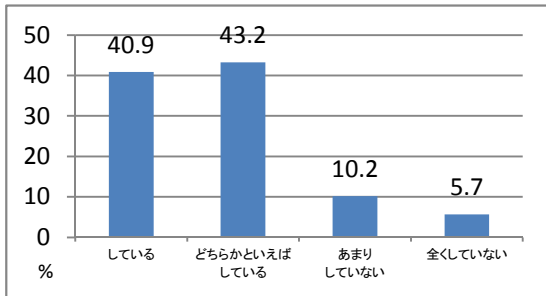
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

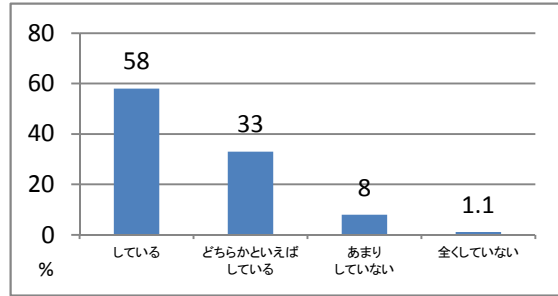
## 1 規則正しい生活習慣を身につけていきましょう。

「早寝、早起き、朝ご飯」を続けて実践し、基本的な生活習慣を身につけて学習に生かしていきましょう。  
 (朝食を食べている児童… 本校93.2%・県87.5%・全国87.6%)

### 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



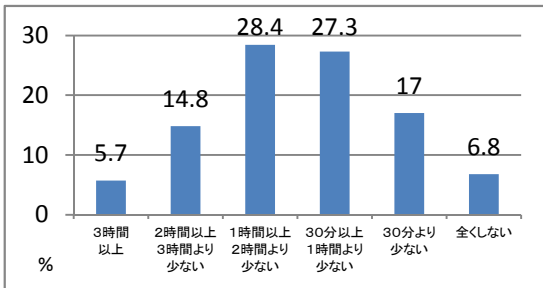
### 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



## 2 家庭学習の習慣を身につけていきましょう。

「10分×学年」が家庭学習の目安です。学習状況を見守り、ほめて励ましてください。

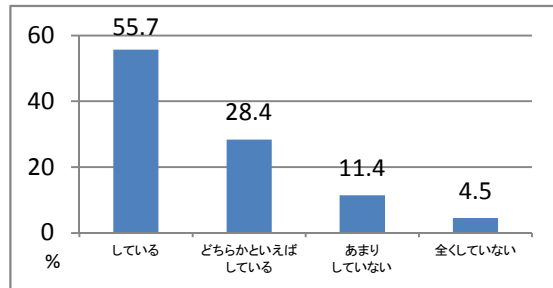
### 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか



## 3 親子で弾む会話をしましょう。

普段の生活や学習、さらに社会の出来事や将来などについて積極的に話し合しましょう。

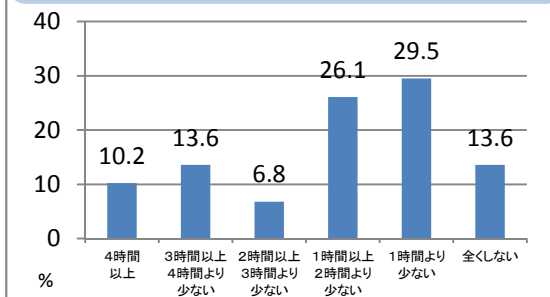
### 家の人と学校での出来事について話をしますか(兄弟姉妹を除く)



## 4 家庭で決めたルールを守りましょう。

テレビ・ゲーム・携帯電話・スマートフォンに費やす時間を家族で決めて守っていきましょう。

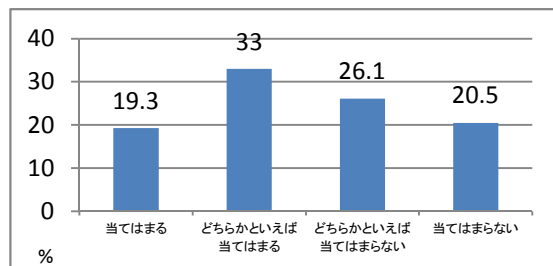
### 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。



## 5 今、住んでいる地域に愛着をもちましょう。

地域の行事に参加することで知り合いができ、安全・安心な生活を送ることができます。

### 今、住んでいる地域の行事に参加していますか。





文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

### 児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

#### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

#### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

#### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

#### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

#### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

#### 【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成 27 年 11 月